



No.52
 2023年7月31日
 谷本地区
 社会福祉協議会
 発行人 矢野宣子

「お元気ですか！」は、谷本地区連合の皆様への情報をお知らせする広報紙です。

あおば支援学校訪問記



6台のスクールバスがあります

鶴見川のほとり上谷本町にある「あおば支援学校」(旧中里学園跡地)は、2020年4月に設立された県立の肢体不自由教育・知的障がい教育の特別支援学校です。小中高とあわせて200名あまりの定員です。3階建の建物はバリアフリー設計でエレベーター、室内スロープが設置され、廊下も広く車椅子での移動がスムーズにできます。フロア別に色分けがされていたり、手すりは高さの違う2段階設定など色々工夫されています。



校舎の全景

常駐の看護師も3人いて安心できる環境です。

設備は冷暖房完備の小中高校生の各教室のほか、体育館、室内プール、自立活動室、製パン室、ランドリー室、ふれあい図書コーナー、パソコン教室などがあります。



明るい室内プール

食育にも力をいれており、近くの畑を借りてさつまいもやじゃがいもを育てています。収穫した野菜類は給食になってふるまわれています。

建物のきれいさだけでなく、校内で会う生徒達はきちんと挨拶をしてくれ、そこで学ぶ生徒達の笑顔と明るさでとてもさわやかな気持ちになりました。



ふれあい図書コーナー

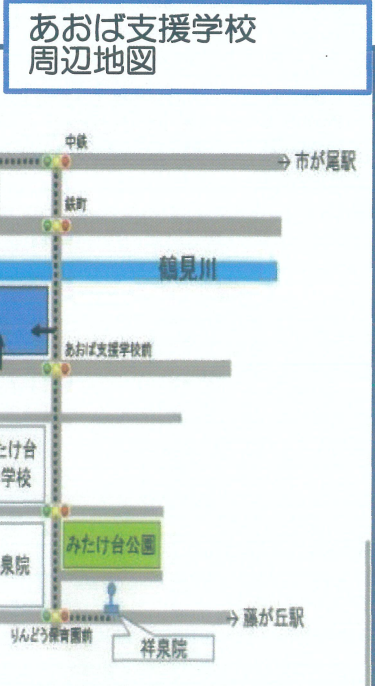


車椅子がすれ違える広い廊下



体育館・ふれあい図書コーナーは利用団体登録をすれば使用できます。
 土曜日 午前9時～午後9時 日曜日 午前9時～午後7時

『問い合わせ先』あおば支援学校
 ☎045-978-1161
 〒227-0041 青葉区上谷本町109番地



地区社協新年度スタート

五月十四日(日)藤が丘一丁目町内会館にて谷本地区社会福祉協議会の令和五年度総会が開催されました。各部門の業務・会計報告等の後、矢野会長より「今年度は障がい児者への理解、若い世代(児童・生徒)への取り組みにも力を入れていきたい」というお話がありました。

長引くコロナ禍で中止や縮小されていた様々な行事が今年度は通常通り開催される予定です。社協各部門からも意欲的に取り組み姿勢が強く感じられました。

各部門の活動に期待したいと思います。



「みんなの椅子」設置事業は引き続き行われます



風水害に備えましょう



災害は地震だけではなく、台風や豪雨の被害に備えましょう。

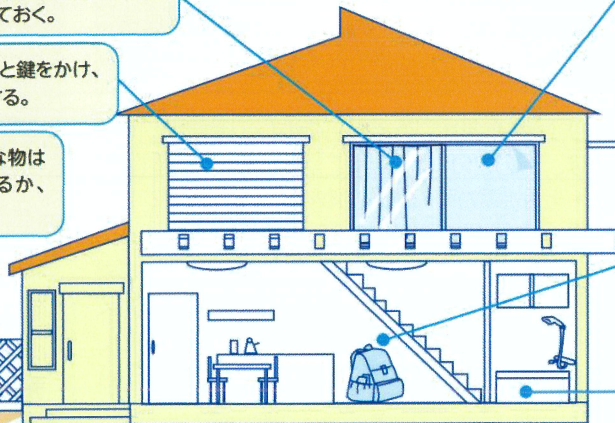
備え おうちの安全対策をしよう！

万が一の飛来物に備えて、カーテンやブラインドを下ろしておく。

窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する。

風で飛ばされそうな物はしっかりと固定するか、家の中へ格納する。

こまめに剪定をし、枝折れを減らす。



飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼る。

停電に備えて携帯電話やモバイルバッテリーを充電しておく。

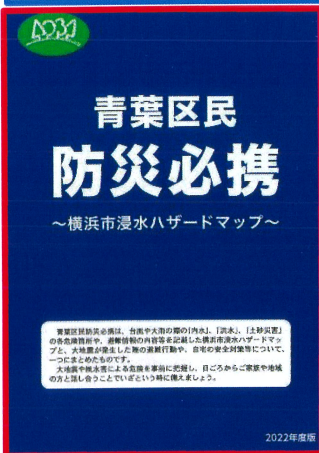
非常用持出袋を用意する。(マスク・消毒液など感染症対策グッズも忘れずに準備)

断水に備えて飲み水を確保するほか、浴槽に水を張るなどし、生活用水を確保する。



【広報よこはま2022年6月号より抜粋】

「青葉区民防災必携」をもちましょう



「青葉区民防災必携」とは、上記の風水害に対応するだけでなく、様々な防災情報をひとつにまとめたものです。

青葉区の危険箇所、避難所、災害時の避難情報、それぞれの情報の入手の仕方などがわかりやすく書かれています。ぜひ手元において、ご活用ください。

青葉区役所・もえぎ野地域ケアプラザに置いてあります。

避難場所についての注意

土砂災害・洪水時の避難場所は、防災訓練時に使用される地域防災拠点と必ずしも同じではありません。

鶴見川沿い…谷本小
恩田川沿い…さつきが丘小

開設場所・開設時間など災害時にその都度発表になります。



すべきこと

- ① 家や家の周りに危険がないか確認
- ② 家の近くに危険箇所がないか確認
- ③ いざという時の為に避難する場所・避難経路を確認
- ④ 避難する時、必要なものを確認



右のQRコードから「青葉区民防災必携」をダウンロードすることもできます。



《谷本地区社協報告》

坂の多い谷本地区の街中に、3つのベンチが設置され、多くの方に喜んでいただいております。

この度谷本地区社協の働きかけに、青葉区地域振興課・青葉土木事務所さんが、快く理解を示してくださり、藤が丘一丁目第二公園入り口にも素敵なベンチを設置して頂きました。

是非ご利用ください。(会長 矢野宣子)



《編集後記》

この度新たに広報委員に加えていただきました沖原です。地域デビューも遅く、小学校の学級新聞の経験しかありません。足でまといにならぬか不安です。二度出席した定例会に於ける、女性編集者の活発な意見応酬を身近に拝見し、驚いています。消極的で引っ込み思案な自分を鍛えなおすチャンスと考え、精進したいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。(沖原)

- 広報部長 豊崎 智子(梅が丘)
- 広報委員 飯田 恵子(藤が丘一丁目)
- 同 沖原 盛久(千草台)
- 同 関根 淳子(藤が丘2A)
- 同 服部 正(藤が丘2B)

